



2023年11月24日  
第66号

# JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川一実  
編集 情宣担当  
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

## イーハトーブ

11月25日号

ウクライナ侵攻やガザ地区への攻撃と戦争が続いている。日本はいくつかの戦争を経験している。過去の戦争で当事者になった場合とならなかった場合で経済への影響は異なる。当事者になった場合は、多額の費用を捻出するために、日銀がお金を大量に流すことで、円の価値が下がり、物価高騰へとつながる。一方、当事者にならない場合は、武器の供給などがメインとなるため、国内企業への注文が増えれば生産力は増加する。これによりGDPが上がり、手元の現金が増えることで消費の好循環となる。

現在、日本は防衛費を拡大し、経済の好循環をつくろうとしているのではない。しかし、戦争が起これば巻き込まれるのは私たち労働者や子どもである。このような成長ではなく、賃金が上がり、より良いものが普通に買える世の中にならないといけない。そのためにも政府主導ではなく、私たち労働者の声で賃上げが必要である。

昨年から円安の進行で物価高が続いている。2023年だけでも約7千品目の値上げが実施された。繰り返される値上げで賃金が上昇しても、物価上昇率に追いついておらず全然楽にならないというのが実感である。私たちから24春闘の満額要求をかち取り、経済への好循環をつくり上げていこうではないか。(Y・H)

### イーハトーブとは

「注文の多い料理店」や「雨ニモマケズ」などの著者として有名な宮沢賢治による造語です。故郷の岩手県をモチーフとし、彼の心の中にある理想郷を示す言葉です。

社会に目を向け、新しいものを積極的に取り入れ、農民の生活向上のために最後まで尽力した宮沢賢治の生き方に学びながら、私たちも外に目を向け、私たちが安心して働き暮らせる理想郷を実現していこうという想いを込め、イーハトーブというタイトルで情報発信を行っています。